

R7農事メモ(第3号)

令和7年5月16日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

白山石川グレードアップ米づくり運動実施中！

今回のポイントは

□田植え1ヶ月後には中干し開始（過剰生育、遅発分げつ発生防止！）

□中干し期間は1ヶ月

的確な中干し・溝切りで高品質米を目指しましょう！！

水稻の生育状況

育苗期間は昨年に比べて温度が低く推移したことから、病害の発生は少なくなりましたが、田植期間は低温・曇天・強風の日が多かったことから、植え痛みや活着の遅れが散見されます。

今後は分げつの発生を促すため、浅水管理を実施し、水温・地温の上昇を図りましょう。また、積極的に田干しを実施して土壌中のガスを抜き、根の伸長を促しましょう。

当面の栽培管理

(1) 中干し・・・生育をコントロールする大切な管理です。
遅れないよう開始しましょう！



田植え1ヶ月後（5月連休田植えの場合、6月1日頃）が中干し開始の目安です！

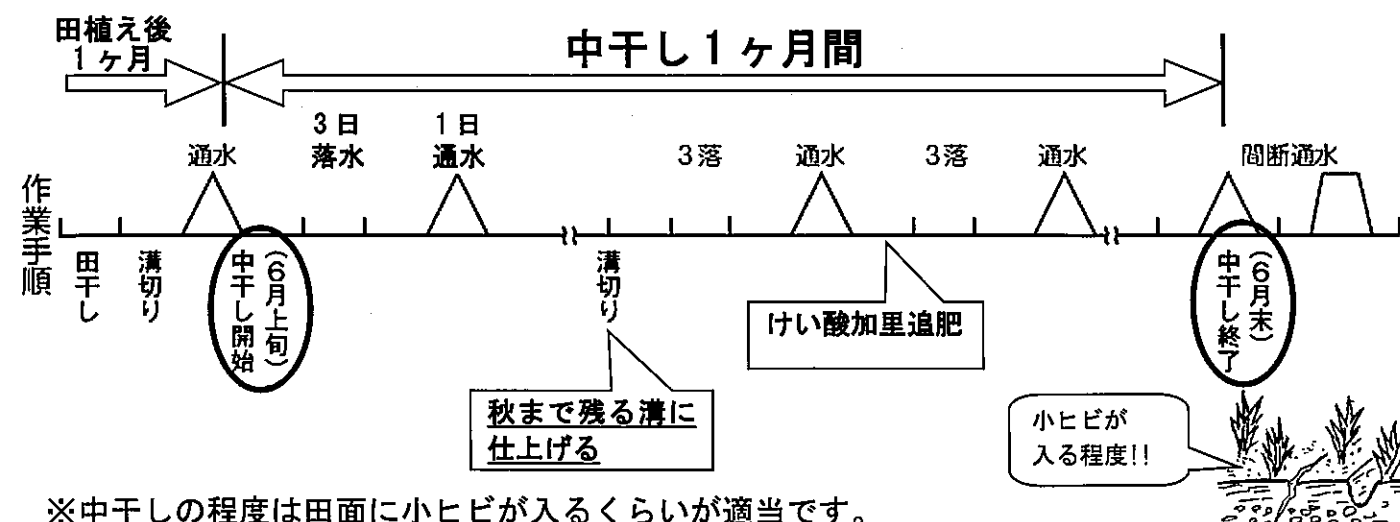
⇒植傷みがひどかったほ場や生育が遅いほ場は、下の株出来を目安に中干しを開始しましょう！※

※コシヒカリは14～15本/株、ゆめみづほは17～18本/株、

ひゃくまん穀は13～15本/株が開始目安です！

◎方法

1日通水・3日落水を数回繰り返す。（根に酸素と水分を供給することにつながります）



※中干しの程度は田面に小ヒビが入るくらいが適当です。

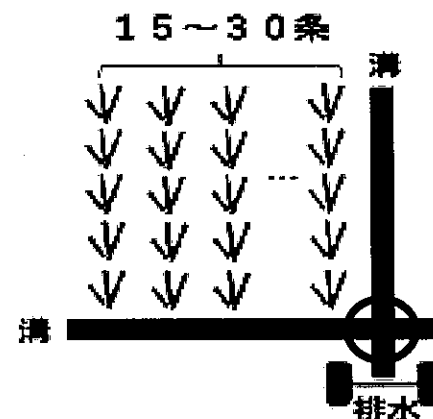
干しすぎて大ヒビを入れると、根を傷めたりほ場の水持ちが悪くなる場合があります。

(2) 溝切り・・・中干しや入排水の効果を高めるため、必ず溝切りをしましょう！

溝切りの実施で登熟後半までの水管理が容易になります

目指すは「秋まで残るきれいな溝」！大麦作付け予定ほ場は必ず実施！！

<イメージ>



溝は15～30条の間隔で

溝や排水溝は
しっかり連結！

中干し・溝切りの効果（まとめ）

- 中干し**
 - ・無効分げつの抑制によって株内環境が向上し、茎が充実するため、倒伏が軽減します。
 - ・土中への酸素供給や有害ガスの放出により、根が広く深く張ります。
 - ・ほ場の地耐力が高まることで、収穫の機械作業が容易になり、適期収穫につながります。
- 溝切り**
 - ・ほ場全体に水が効率よく行き渡るので、均一な水管理ができます。
 - ・収穫直前まで通水できるので、乳白粒や胴割粒を抑制します。
 - ・登熟期のフェーンや強風時等、緊急時においても迅速に通水できます。

△ここにも注意を 《分げつ盛期（6月上旬）の生育に応じた対応》

① 生育が早い、旺盛な場合 → 通常通り溝切りときっちりとした中干しを

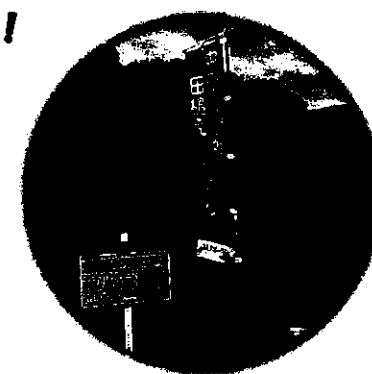
注意 ② 生育が遅い、虚弱な場合 → 浅水管理の後、軽めの中干しからスタート

◇6つの一ヶ月対策展示ほで水管理をチェック！！

下記のほ場で、水管理に関する6つの一ヶ月対策を実施中です！

赤色ののほいが目印！ぜひ参考にしてみてください。→→→

JA支店	集落名	詳細
中央	倉光	白山市役所前
北星	相川	御手洗コミュニティセンターそば
西南	上柏野	オーティ・マッソーさまそば
松南	剣崎	剣崎北信号そば



JA 松任 溝切り・中干し実演会

6月6日（金）13：30～ 白山市徳光町（後日別途ご案内いたします）

○ 雑草管理

(1) 本田（「2025 営農のてびき」の 39 ページも参照してください）

※ 省力剤あります。

○ノビエの取りこぼしが多いとき 《ヒエ剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法	特徴等
ヒエクリーン※ 1 和粒剤	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	1 kg	1 回	湛水散布 又は無人 ヘリに よる散布	遅効性 抑草期間長い
クリンチャー※ 1 和粒剤	移植後 7 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 30 日前まで)	1 kg	2 回以内	湛水散布 又は無人 ヘリに よる散布	残効性が無い
	移植後 25 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 30 日前まで)	1.5 kg			
クリンチャーEW	移植後 20 日～ノビエ 6 葉期 (但し、収穫 30 日前まで)	100mL 希釈水量 25～100L	2 回以内	湛水又は 落水散布	展着剤を加用
トドメ MF 1 和粒剤	移植後 14 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 50 日前まで)	1 kg	3 回以内	湛水散布	効果が早い
トドメ MF 乳剤	移植後 14 日～ノビエ 7 葉期 (但し、収穫 50 日前まで)	200mL 希釈水量 25～100L	2 回以内	湛水又は 落水散布	乳剤は 展着剤不要

○広葉雑草が多いとき《広葉剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
バサグラン粒剤	移植後 15 日～ (但し、収穫 45 日前まで)	3～4 kg	1 回	落水散布または ごく浅く湛水して散布
バサグラン液剤	移植後 15 日～ (但し、収穫 45 日前まで)	500～700mL 希釈水量 70～100 L	2 回以内	

○ノビエや広葉雑草の取りこぼしが多いとき《ヒエ剤＋広葉剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
ロイヤント乳剤	移植後 20 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	200mL 希釈水量 25～100L	2 回以内	落水散布または ごく浅く湛水して散布
ワイドショット 1 和粒剤	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	1 kg	1 回	湛水散布又は 無人ヘリによる散布
レブラス※ 1 和粒剤	移植後 14 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 60 日前まで)	1 kg	1 回	湛水散布又は 無人航空機による散布
アトリ※ 1 和粒剤	移植後 14 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	1 kg	1 回	
クリンチャーバス ME 液剤	移植後 15 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 50 日前まで)	1000mL 希釈水量 70～100L	2 回以内	落水散布または ごく浅く湛水して散布
ワイドパワー粒剤	移植後 20 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	3 kg	1 回以内	

農薬散布後の止め水期間は 7 日間！

本田粒剤や水田用除草剤の散布後 7 日間は落水やかけ流しをしない！！

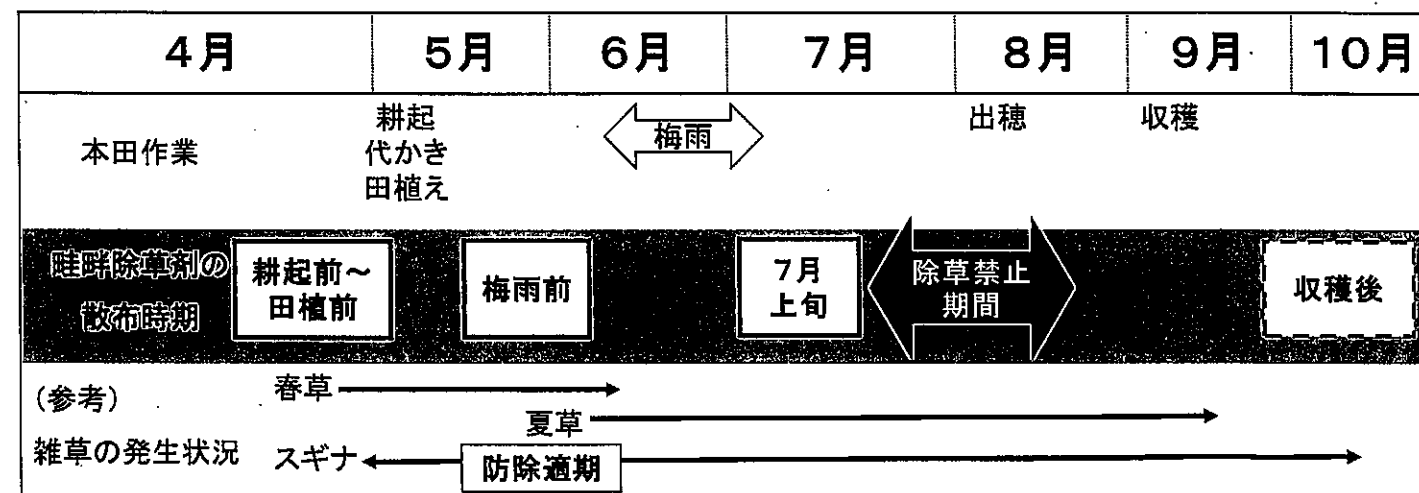
水田内雑草の除草によるカメムシ対策について

近年、ヒエやホタルイ等、水田内雑草がカメムシの発生源、誘因源となって斑点米被害を増加させることがわかってきました。これらの雑草が水田内に多く生えてしまった場合、穂をつける前に中後期除草剤で除草を行ってください。

(2) 畦畔（「2025 営農のてびき」の 59 ページも参照してください）

○水稻畦畔の除草体系の目安

※今年も夏の気温が高い予報が出ており、**斑点米カメムシ類の発生が多いことが見込まれます。**
カメムシ類の住処をなくすため、畦畔除草を徹底しましょう！



○除草剤使用の注意点

- ・違った作物が隣接する場合には、両方に登録のある除草剤を使用して下さい。
- ・作物が違うと、同じ除草剤でも使用時期や使用量が異なることがあるので、使用方法等を確認してから散布して下さい。

※なお、大豆や大麦については、農薬登録上畦畔と本田の区別はありません。



○ 病虫害防除（随時防除）

- ・田回りをこまめに行い、病虫害の発生を確認した場合は、速やかに防除しましょう（2025 営農のてびき P37）。
- ・特定の病虫害の常発地や前年に発生が見られたほ場は、注意して観察を行いましょう。
- ・直播栽培でいもち病予防剤を処理していない場合は、オリゼメート 1 キロ粒剤を散布しましょう。

○ けい酸加里の追肥・・・根の活力向上！倒伏軽減！登熟向上！

資材名	施用時期	施用量	備考
けい酸加里プレミア		40kg/10a	代かき前全層散布も可能 (その場合 60 kg)
(省力) エスアイ 加里カリ投げくん	早生品種 6 月 15～25 日 コシヒカリ 6 月 20～30 日 ひゃくまん穀 6 月 20～30 日	4kg/10a (200g×20 個)	投げ込み肥料（動散での散布 が困難な場合）
ファイトアップ		500g/10a (50g×10 錠)	湛水状態で散布 全面処理

※「土づくりゾーンサイクルプラン」を実施したほ場で、けい酸アップ・コシー発くんを施用している場合は省略できます。

※カリ投げくんは湛水状態(5cm 以上)で投げ入れ、4～5 日間は水を切らさないようにする。



作業のポイントのチェック！！

- 好天の日は浅水管理をしましたか？ □中干しまでに 2～3 回の田干しをしましたか？
□茎数を確認し中干しを開始しましたか？ □溝切りを実施しましたか？ □けい酸加里の準備はできましたか？